

目次

まえがき	
空中写真と地形図の見方	
第1章 序説——地形形成要因	2
§1-1 地形の空間的規模と時間的背景	2
§1-2 大気・水・氷による地形形成作用	4
§1-3 地形形成作用としての地殻変動と火成活動	6
§1-4 地質構造・岩石・土壌と地形との関係	8
§1-5 地形とその形成過程の見方	10
第2章 風化とマスウェイディング	12
解説	12
§2-1 はげ山——足尾山地の煙害裸地	18
§2-2 山くずれ——伊那山地	20
§2-3 地すべり——長崎県平山、樽河内	22
§2-4 巨大地すべり性崩壊と土石流 ——姫川支流浦川、稗田山	24
§2-5 大規模土地改変——東京都多摩丘陵	26
第3章 流水による侵食地形	28
解説	28
§3-1 台地から丘陵へ——種子島西岸	34
§3-2 河成段丘——桂川中流部、鳥沢付近	36
§3-3 山地の開析——木津川沿いの信楽高原と大和高原	38
§3-4 隆起準平原——吉備高原中央部	40
§3-5 積載谷 ——アメリカ、スプリットマウンテン・キャニオン	42
§3-6 河川争奪と不適合(無能)谷 ——北近畿、石田川と百瀬川	44
第4章 川のつくる堆積地形	46
解説	46
§4-1 扇状地——黒部川扇状地	50
§4-2 蛇行河川と自然堤防——石狩川中流部	52
§4-3 円弧状三角州——東京湾の小櫃川三角州	54
§4-4 鳥趾状三角州——ミシシッピ川三角州	56
第5章 海岸地形	58
解説	58
§5-1 岩石海岸のベンチ——宮崎県青島付近	62
§5-2 海成段丘——室戸半島西岸	64
§5-3 リアス海岸と防災——三陸、田老海岸	66
§5-4 砂嘴の発達——北海道野付崎	68
§5-5 海岸平野の発達——九十九里浜平野	70
§5-6 海岸侵食——新潟県信濃川河口周辺	72
§5-7 裾礁——与論島	74
§5-8 堡礁——ミクロネシア、ボナペ島	76
§5-9 人工構造物による海岸地形——東京港15号地	78
第6章 風のつくる地形	80
解説	80
§6-1 さまざまな砂丘と風食地形	82
§6-2 海岸砂丘——渡島半島江差海岸	84
§6-3 大陸の砂丘——オーストラリア、ムンゴ湖畔	86
§6-4 人工の砂丘——遠州灘海岸	88
第7章 乾燥～半乾燥地形	90
解説	90
§7-1 ペディメント——ケニア南東部、ヴォイ付近	92
§7-2 バハダとプラヤ——アメリカ、デスバレー	94
§7-3 氷河期湖の湖岸段丘 ——ボリビアアンデス、アルチプラノ	96
第8章 周氷河地形	98
解説	98
§8-1 永久凍土不連続帯の周氷河地形——大雪山	104
§8-2 非永久凍土帯の周氷河地形——白馬岳	106
§8-3 永久凍土連続帯の地形——極地カナダ	108
§8-4 氷期の周氷河地形——宗谷岬	110
§8-5 化石周氷河現象——北海道、根釧原野	112
§8-6 積雪の作用と雪崩による地形 ——只見川流域、御神楽岳	114

第9章 氷河地形	116
解説	116
§ 9-1 山岳氷河の地形——アルプス, モンブラン山群	122
§ 9-2 山麓氷河の地形	
——ボリビアアンデス, レアル山脈南西麓	124
§ 9-3 大陸氷床による地形——東南極ラングホブデ	126
§ 9-4 日本アルプスの氷河地形——槍・穂高連峰	128
§ 9-5 間氷期の海食崖と氷期の融氷水成段丘	
——ニュージーランド南島西海岸	130
§ 9-6 山麓氷河の消長——アルプス北麓	132
§ 9-7 大陸氷床の消長——北西ヨーロッパ	134
第10章 火山地形	136
解説	136
§ 10-1 火山活動にともなう地形変化——有珠山	142
§ 10-2 爆発的噴火で生じたカルデラ——十和田湖	144
§ 10-3 複成(成層)火山——富士山	146
§ 10-4 降下テフラが厚く堆積した地域の地形	
——富士東麓	148
§ 10-5 単成碎屑丘と溶岩流——伊豆大室山	150
§ 10-6 アイスランド型盾状火山	
——アイスランド, スキャルドブレイダー	152
§ 10-7 ハワイ型盾状火山——ハワイ, キラウエア	154
第11章 変動地形	156
解説	156
§ 11-1 横ずれ断層地形	
——石鏡山脈北麓の中央構造線活断層系	162
§ 11-2 活断層による変位の累積	
——ニュージーランド北島, ワイララパ断層	164
§ 11-3 逆断層による変位地形——鈴鹿山脈東麓	166
§ 11-4 堆石堤を切る正断層地形	
——ペルー, コルディエラブランカ断層	168
§ 11-5 正断層地形——アイスランドのギャオ	170
§ 11-6 活褶曲による河成段丘面の変形	
——信濃川下流地域	172

§ 11-7 地震隆起による海成段丘——房総半島南部	174
§ 11-8 海成段丘の傾動	
——ニュージーランド北島ベアリング岬付近	176
第12章 組織地形	178
解説	178
§ 12-1 水平層を切る大峡谷——グランド・キャニオン	182
§ 12-2 ケスタ地形——イギリス, ピーク地方南東部	184
§ 12-3 古い褶曲構造を反映した組織地形	
——アパラチア山脈	186
§ 12-4 岩質の差を反映した侵食地形	
——阿武隈山地北西部	188
§ 12-5 カルスト地形——山口県秋吉台	190
§ 12-6 氷食地域に見られるカルスト地形	
——イギリス北西イングルバラ周辺	192
第13章 海底地形	194
解説	194
§ 13-1 大陸棚——対馬海峡東水道	198
§ 13-2 舟状海盆と海底谷——相模湾	200
§ 13-3 深海平坦面とアウトーリッジ	
——熊野灘・遠州灘	202
§ 13-4 海嶺と舟状海盆——日本海東部	204
§ 13-5 海溝と大陸斜面——三陸沖の日本海溝	206
第14章 大地形	208
解説	208
§ 14-1 大陸とリフト系——アフリカ大陸	214
§ 14-2 大陸の大地形——北米大陸	216
§ 14-3 中央海嶺——大西洋中央海嶺	218
§ 14-4 島弧の大地形——東北日本弧と本州中部	220
§ 14-5 大陸間山系——ヒマラヤ	222
文献	224
索引	232
索引図	240

写真と図でみる地形学

1985年11月30日 初版第1刷発行
2010年9月30日 第10刷発行

検印廃止

編者——貝塚爽平・太田陽子・小疇尚・小池一之・
野上道男・町田洋・米倉伸之

発行所——財団法人 東京大学出版会
東京都文京区本郷7-3-1 電話=03-3811-8814 振替=00160-6-59964

代表者——長谷川寿一

文字整版——株式会社 永昌美術

印刷——株式会社 平文社

製本——牧製本印刷株式会社

© 1985 Sohei Kaizuka *et al.*

ISBN978-4-13-062080-2 Printed in Japan

本書の無断複写は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。
本書は、日本複写権センターへの包括許諾の対象となっておりませんので、
本書を複写される場合は、その都度当会(編集総務部 03-3811-0964)の
許諾を得てください。